



2020年度 地球環境基金 助成金のご案内



独立行政法人 環境再生保全機構

地球環境基金部

2019年10月

1. 環境再生保全機構について

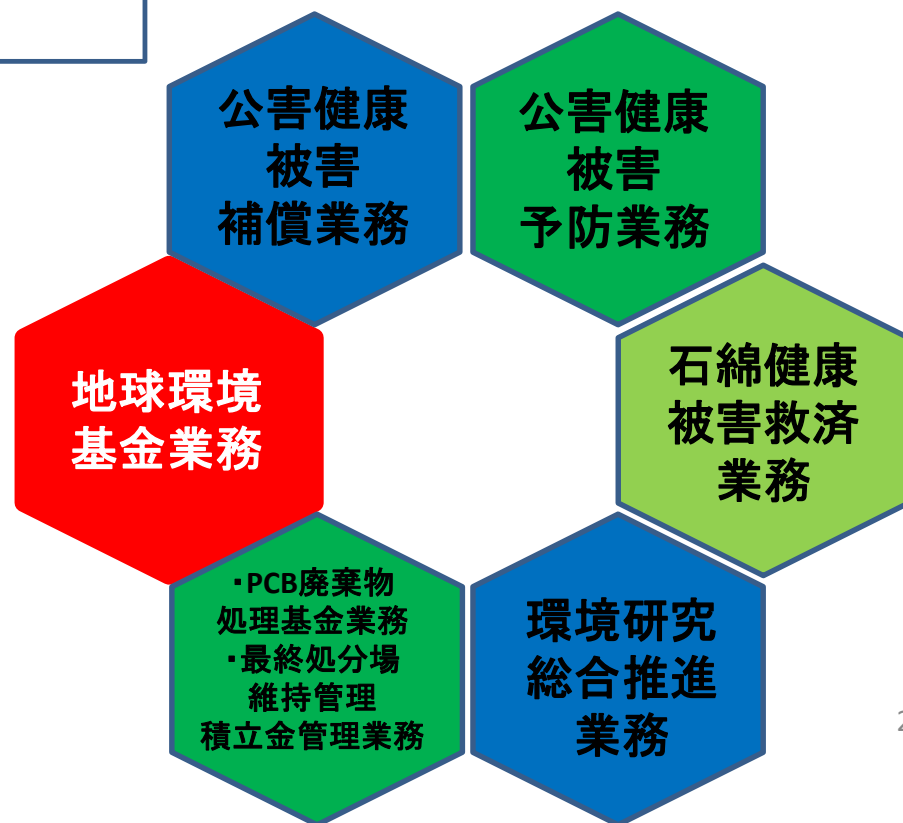


独立行政法人 環境再生保全機構

所 管：環境省

所 在：神奈川県川崎市幸区大宮町1310番
ミューザ川崎セントラルタワー8F

- ・ 環境分野の政策実施機関です



地球環境基金の情報館ホームページ

<https://www.erca.go.jp/jfge/>

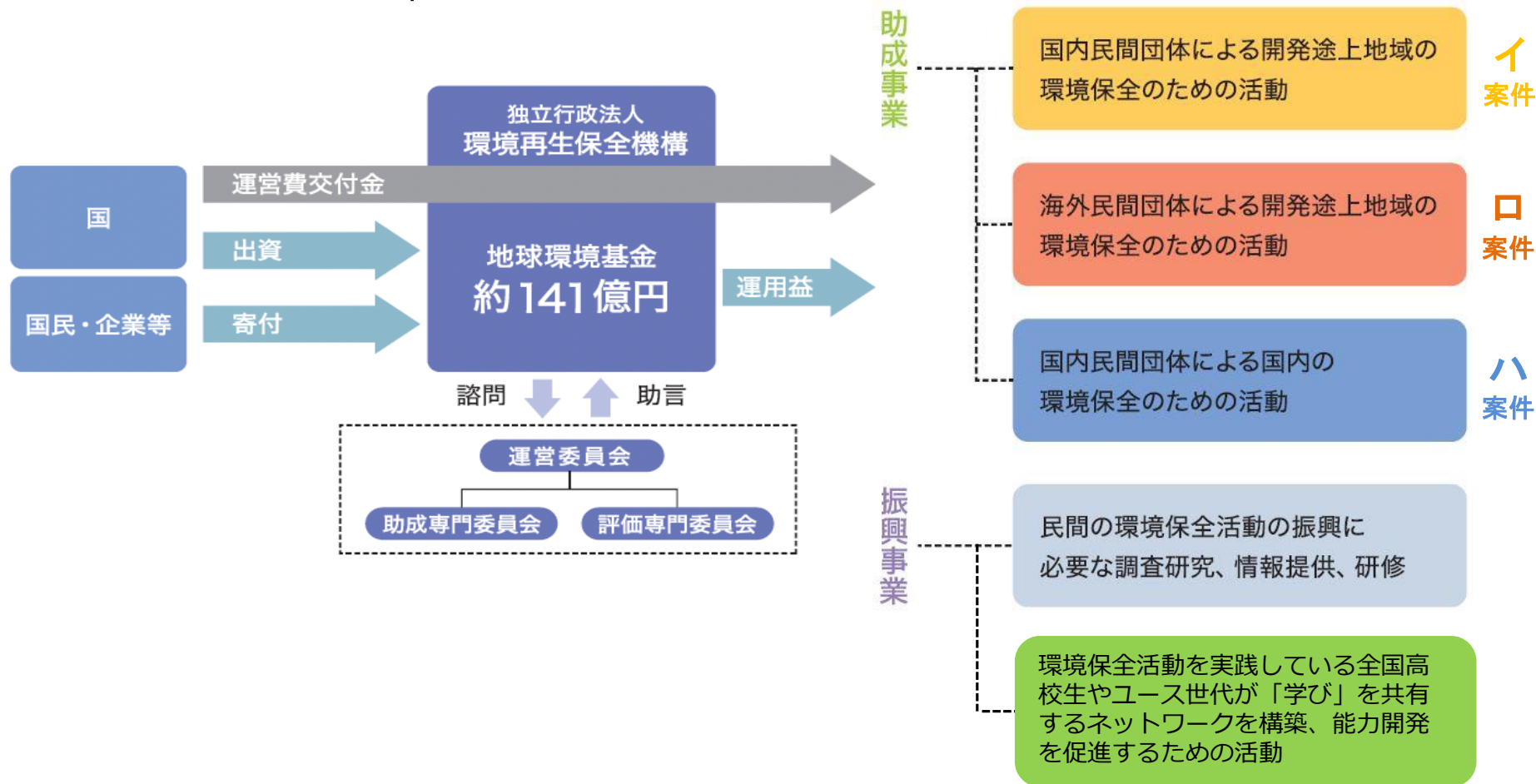
2. 地球環境基金について

募集案内 P.1



(1) 地球環境基金の仕組み

地球環境基金は1993年に創設され、今年で26年目になります。
これまでに、のべ5,262件、総額173億円の支援を行ってきました。



2. 地球環境基金について

募集案内 P.10-12



(2) 応募団体要件

- ①特定非営利活動法人
- ②(一般/公益) 社団法人、財団法人
- ③任意団体 (要件あり)

※企業や地方公共団体は対象外です

(3) 対象活動分野



3. 2020年度 助成メニューの紹介

募集案内 P.14-15



メニュー名	概 要	助成期間	年間助成金額/件
はじめる助成	地域活動の種を育て、地域に根付いた活動を中心に、地域からのボトムアップでの充実を目指す支援制度	1年間	50万～300万円
つづける助成	地域にねざすことなどを目指して始めた活動が、継続し、持続的な活動へと定着することを支援する制度	最大3年間	50万～300万円
ひろげる助成	課題解決能力等に磨きをかけ、より効果的な活動の展開を実現し団体組織のステップアップを目指すための支援制度	最大3年間	200万～800万円
ボランティア助成	日本の環境N G O ・ N P O が中心となり、市民社会に新たなモデルや制度を作るための支援制度	原則3年間 (最大5年間)	600万～1,200万円
プラットフォーム助成	日本の環境N G O ・ N P O が横断的に協働・連携し国際会議等で意見表明を行うなどの大きな役割を果たすための支援制度	最大3年間	200万～800万円
復興支援助成	東日本大震災被災地域における環境保全を通じた復興に資する活動への支援制度	最大3年間	100万～500万円
特別助成	東京2020に開催に向けた活動で、東京2020から環境面でのレガシー、市民参加による環境保全のムーブメントを創出するための支援制度	原則1年間	200万～600万円
LOVE BLUE助成	一般社団法人日本釣用品工業会からの寄付によるものであり、清掃活動など、水辺の環境を構築するための支援制度	最大3年間	総額1,350万円 以内

4. 2020年度 助成メニューの紹介①

募集案内 P.14



はじめる助成

助成期間 : 1年間
年間助成金額 : 50～300万円

対象 (イ・ロ・ハ案件)

地球環境基金の助成を受けたことがない団体による、地域活動の種を育て根付くことを目指した活動を支援

条件

- ・助成活動関連分野における活動実績を1年以上有していること
- ・団体設立から10年以下であること

つづける助成

助成期間 : 最大3年間
年間助成金額 : 50～300万円

対象 (イ・ロ・ハ案件)

地域に根ざすことなどを旨として、同種の活動を継続し、持続的な活動へと定着することを支援

条件

- ・助成活動関連分野における活動実績を1年以上有していること
- ・直近3年間ははじめる助成を受けた団体、または過去に地球環境基金の助成を受けたことがない団体であること
- ・つづける助成を受けられるのは1団体1回限り

4. 2020年度 助成メニューの紹介②

募集案内 P.14



ひろげる助成

助成期間 : 最大3年間
年間助成金額 : (イ案件) 200～800万円
(ロ・ハ案件) 200～600万円

対象 (イ・ロ・ハ案件)

団体にとって、**新しい課題、分野、手法に取り組もう**とするなど、課題解決能力に磨きをかけ、より効果的な活動の展開を実現し**団体組織のステップアップ**を目指す活動への支援

条件

- ・助成活動関連分野における活動実績を**3年以上**有していること
- ・ひろげる助成を連続して**6年間受けた場合、その後2年間**は地球環境基金の助成金に要望することができない

フロンランナー助成

助成期間 : 原則3年間(最大5年間)
年間助成金額 : 600～1,200万円

対象 (イ・ハ案件)

日本の環境NGO・NPOが中心となり、市民社会に**新たなモデルや制度を生み出す**活動を支援

条件

- ・助成活動関連分野における活動実績を**1年以上**有していること
- ・要望時に5年間の活動計画を提出し採択された場合、活動の進捗及び第三者評価の結果によっては**最大5年間助成を受けられる**
- ・フロンランナー助成を受けた場合には、その後**2年間**は地球環境基金助成金に要望することができない



(特非)持続可能な環境共生林業を実現する 自伐型林業推進協会（東京都）

活動名：新たな持続可能な環境保全型「自伐型林業」の推進基盤づくりと全国普及
分野：森林保全・緑化（1,000万円）



森林環境保全効果、国土保全効果、中間山地域における生業創出・雇用創造効果（就業力）の面で優れている「自伐型林業」を全国で普及・推進する体制の確立を目指しており、全国40自治体での予算化、実践者の増加（1,200人以上）、国会議員の議員連盟の誕生、学会での紹介、メディアでの掲載などの成果を挙げ、**着実に新たな制度の創造に向けて取り組んでいる。**



4. 2020年度 助成メニューの紹介③

募集案内 P.15

プラットフォーム助成

助成期間 : 最大3年間
年間助成金額 : 200～800万円

対象 (イ・ハ案件)

日本の環境NGO・NPOが他のNGO・NPOなどと**横断的に協働・連携**し特定の環境課題解決のために**大きな役割を果たす**ことを目指した活動を支援

条件

- ・事務局となる団体は、助成活動関連分野における活動実績を**1年以上**有していること
- ・国際会議などターゲットとする年が明確な場合、その年まで**助成の延長**を認める場合がある
- ・実施後は、同一課題について**当分の間採択しない**

復興支援助成

助成期間 : 最大3年間
年間助成金額 : 100～500万円

特別助成

助成期間 : 原則1年間
年間助成金額 : 200～600万円

⇒ 詳しくは、募集案内P. 15をご覧ください



Climate Action Network Japan (CAN-JAPAN) (京都府)

活動名：自然エネルギー100%プラットフォーム
分野：地球温暖化防止（540万円）



助成団体が、日本における「再生可能エネルギー100%（RE100%）」のビジョンを広げるプラットフォームとなり、他のNGO・NPOなどのメンバー団体と横断的に協働・連携しながら、社会におけるRE100%の支持を広げることで、日本政府のエネルギー政策が再生可能エネルギー中心の政策へと転換する機運を高め、CO2の大幅削減の実現を目指す活動を行っている。



4. 2020年度 助成メニューの紹介④

LOVE BLUE 助成

助成期間 : 最大3年間
(助成総額1,350万円以内)

対象 (ハ案件)

清掃活動など、水辺の環境保全活動を支援

条件

- ・助成活動関連分野における活動実績を**1年以上**有していること
- ・1年間の計画で要望された場合でも、活動の発展性、進捗状況によっては**最大3年間**助成を受けることが可能
- ・水辺の**清掃活動を含む活動**である必要がある



■ LOVE BLUE事業とは・・・

- ・一般社団法人日本釣用品工業会が「LOVE BLUE～地球の未来を～」のスローガンを掲げ、つり環境ビジョンコンセプトに基づき公益財団法人日本釣振興会と協働で取り組む環境保全活動です。
- ・釣用品メーカー等が国内で販売する釣関連用品に「環境・美化マーク」を表示し、その売り上げの一部などが事業原資となっています。
- ・「LOVE BLUE助成」は、この事業原資の一部について、地球環境基金にご寄付をいただき助成金に充てています。

5. 環境NGO・NPO若手プロジェクトリーダー 育成支援プログラム

募集案内 P.17



地球環境基金若手プロジェクトリーダー育成支援プログラムとは？

地球環境基金助成対象団体 の若手職員育成を支援するため、3年間にわたり活動推進費（賃金）を助成するとともに、年間3回（3年間で全9回）の研修機会を提供します。

プロジェクト推進力の習得

自分たちの活動を振り返りながら、課題解決のスキルを学びます。

幅広い人脈作り

他団体の研修生、講師、アドバイザー等と情報交換や相談ができます。

活動推進費の助成

3年間の助成期間中は対象職員の賃金を助成します。（上限あり）

研修例

研修事業

1年目

プロジェクトを体系的に理解し推進を目指す

- 計画策定の手法
- プロジェクト・マネジメントの知識・手法
- 利害関係者の整理

2年目

成果をアピールし熱烈な支持者の獲得を目指す

- マーケティング
- 資金・資源調達
- 広報・チラシ製作

3年目

人々を巻き込み影響力の持続を目指す

- 協働・相互理解の促進
- フィールド実習
- 次年度以降の計画策定

助成事業

- 3年間のプロジェクト助成
- 若手プロジェクトリーダー活動推進費（賃金）の助成

リーダーシップを発揮し、環境保全活動の持続的発展に貢献できる人材を育成

* はじめる助成、つづける助成、特別助成、LOVE BLUE助成は対象外

6. 地球環境基金助成の特徴

募集案内 P.3-4



① 主な原資は公的資金です

- ・ 国民に対する説明責任
- ・ 補助金適正化法の遵守が求められます

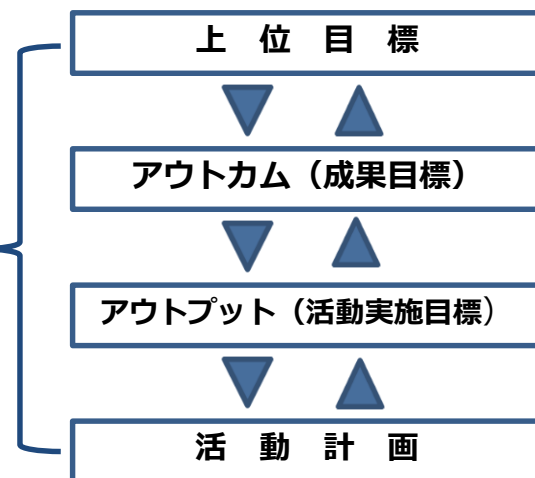
論理的
つながりを
重視

② アウトカム（成果）志向

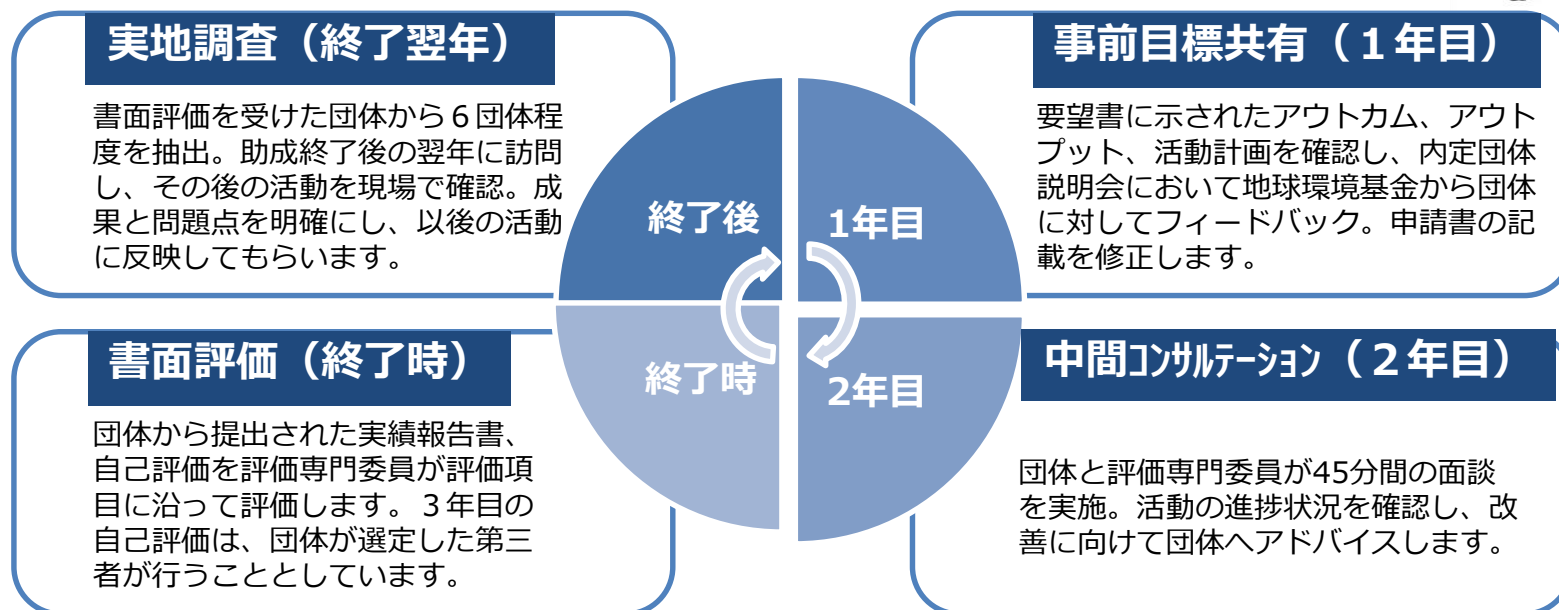
- ・ 活動が目指す最終的に実現したい望ましい環境の状態（成果目標）の実現に向けて、活動計画が具体的かつ効果的に構成されていること

③ 助成活動の成果の向上のための評価制度

- ・ 外部有識者による中間コンサルテーションなどを行うことにより、活動状況を確認してアドバイスを行う、「改善のための評価」を目指して実施しています



(参考) 地球環境基金の評価制度



7. 2020年度 助成金要望について①



(1) 要望及び採択決定に関するスケジュール

日程	内容
9月30日（月）	2020年度募集案内をホームページで公表 地球環境基金ホームページ： https://www.erca.go.jp/jfge/
11月5日（火）正午～ 12月3日（火）13：00	募集期間 要望書提出の際に必要な情報入力ページ： https://www.erca.go.jp/jfge/subsidy/application/entry/index.html
12月3日（火）13：00	募集締切
3月上中旬	内定通知
4月中旬	内定団体説明会（川崎）

8. 2020年度 助成金要望について②

募集案内
P.25-26



要望書類提出方法

①要望書の様式のダウンロード・書類作成

<https://www.erca.go.jp/jfge/subsidy/application/entry/index.html>

②団体情報の登録 → 要望書類提出専用ページのURL・ログイン用番号が届く

<https://www.erca.go.jp/jfge/subsidy/application/entry/index.html>

必要事項：団体名・担当者名・メールアドレス・電話番号・任意パスワード

③要望書類提出専用ページへ移動・ログイン

④必要事項の入力・要望書類のデータの提出

⑤登録完了の確認

※登録完了までの詳細な手順と要領は、地球環境基金ホームページに公開しています。

※受付終了時間の間際はアクセスが集中し、提出までに時間がかかる可能性があります。

提出の際は、時間に余裕を持って作業するよう心掛けてください。

※要望書類は一度提出すると差し替えや参照はできません。提出前によく確認し、必ずデータを保存し、印刷しておいてください。

※当機構への郵送、持参、メールによる提出は原則受付できません。



9. 地球環境基金のSDGs

(持続可能な開発目標) への取り組み

●2015年9月に国連サミットで採択されたSDGsは、持続可能な世界を実現するための17の目標と169のターゲットを示し、2030年を目標に見据えた全世界の共通指標となりました。

●地球環境基金は、あらゆる組織がSDGsと何らかの関わりを見出し「自分事」として捉え、SDGsの考え方を基準に課題を見つめ直し取り組むことが大切だと考えます。



●また、SDGsはNGO・NPOだけでなく、様々な主体（アクター）にとっての共通言語ですので、同じ目標やターゲットを持って行動する他のアクター（国、自治体、企業など）との連携や協力関係を築きやすくなるメリットもあります。

地球環境基金も、活動資金助成やエンパワメントをおこなう事業を通じて、SDGsの考え方を活用し、複数の目標を統合的に解決することを目指す環境NGO・NPOを積極的に支援していきます。

（2020年度助成金の要望書には、要望するプロジェクトがSDGsのどの目標及びターゲットに当てはまるかを記載する欄を設けております。）



ご静聴有難うございました！

**地球環境基金助成金
交付要望書の書き方については
第二部でお話いたします！**



独立行政法人 環境再生保全機構

地球環境基金部

(参考) 2019年度 内定実績



助成金内定率は約5割程度

(単位：百万円)

助成の種類	要 望		内 定		内定率
	件数	金額	件数	金額	
はじめる助成	43	82	11	20	26%
つづける助成	92	194	43	83	47%
ひろげる助成	199	848	112	397	56%
フロントランナー助成	13	95	5	35	38%
プラットフォーム助成	10	46	4	20	40%
復興支援助成	15	56	9	28	60%
特別助成	3	14	2	9	67%
LOVE BLUE助成	12	16	12	13	100%
計	<u>387</u>	1,351	<u>198</u>	605	54%

注) 百万円未満切捨のため、端数処理で合計が一致しない。

(参考) 地球環境基金 助成金の支払方法



原則： 精算払い

- ・ 2020年7月～2021年3月の間に**5回**申請する機会があります。
- ・ 支払申請Excelファイルを当機構のHPよりダウンロードして作成します。

例外：一部概算払い

* 助成2年目以降の継続団体が要望し、かつ審査を通過した場合のみ



対象となる主な経費

- 賃金：** 非常勤スタッフのアルバイト賃金、□案件代理人アルバイト賃金
- 謝金：** 講師・専門家等への謝金、原稿執筆謝金
- 旅費：** 交通費、宿泊費、高速道路代
- 物品・資材購入費：** 機材・資材・備品購入費、書籍購入費
- 借損料・役務費：** 会場費、機材借料、印刷費、外部委託費
- 事務管理費：** 事務用品費、郵送費、振込手数料

対象とならない経費

- ・有給役職員への賃金・謝金 (若手プロジェクトリーダー活動推進費除く)
- ・個人又は団体への贈答品等
- ・汎用性の高い物品 (カメラ・PCなど)
- ・飲食に係る経費 など

(参考) 海洋ごみ対策への重点的な支援①



マイクロプラスチックを含む 海洋ごみ対策は喫緊の課題

日本国内の海岸にごみが漂着

海岸での漂着ごみの事例



山形県酒田市飛島



長崎県対馬市

漂着物の例



漁具

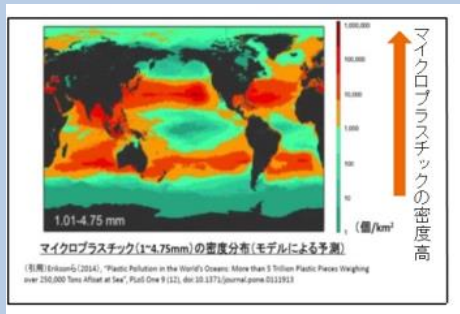


ポリタンク



洗剤容器

海洋プラスチックによる地球規模の海洋汚染



想定される被害

- ・生態系を含めた海洋環境への影響
(海洋生物によるごみの誤飲・誤食、海浜植物の成長阻害など)
- ・船舶航行への影響
- ・観光・漁業への影響
- ・沿岸域居住環境への影響

国による

海洋ごみ問題対策の推進

- ・第五次環境基本計画
マイクロプラスチックを含む海洋ごみへの対応など
- ・海外漂着物処理推進法改正
海洋環境の保全の観点等の追加、
マイクロプラスチック対策など
- ・第四次循環型社会形成推進基本計画
プラスチック資源循環戦略の策定など

国は、海岸漂着物対策を推進するための枠組みとして
「民間団体等の多様な主体の適切な役割分担と連携の確保」
を掲げており、海洋ごみ対策において、
環境NGO・NPO等の民間団体に期待される役割は非常に大きい

(参考) 海洋ごみ対策への重点的な支援②



地球環境基金では、2020年度助成金募集に当たり、
重点配慮事項として「マイクロプラスチックを含む海洋ごみ対策」
を掲げました。

(想定される助成活動の一例)

- ・実践

海辺におけるごみの清掃活動、プラスチック容器のリデュース、リサイクル

- ・調査研究

海洋ごみの分布、生態系への影響

- ・知識の提供・普及啓発

プラスチック容器のリデュース、分別意識向上、リサイクル

- ・海洋ごみに関する国際連携 など

海洋ごみには陸上起因のものも多く、
日常におけるプラスチックの使い方についても考えていく必要があります。